

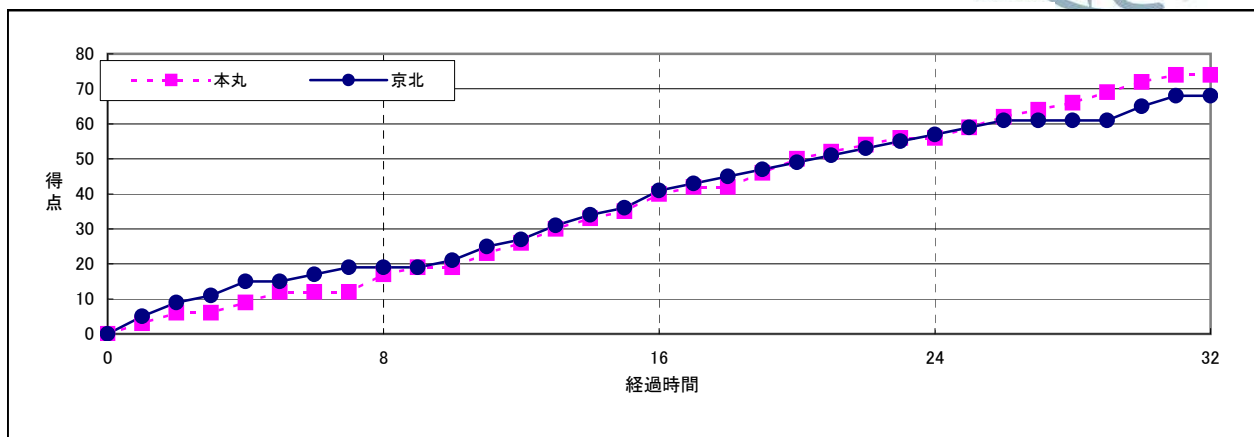
【game report】

No. 3 - HM - 4

平成20年度全国中学校体育大会
第38回全国中学校バスケットボール大会



試合区分	3日目 男子 HMコート第2試合 決勝トーナメント決勝			
日時	8月25日(月)	14:20 ~		
会場	東総合スポーツセンター			
結果	本丸	74	17 1st 19 23 2nd 22 16 3rd 16 18 4th 11 OT	京北
	新潟			東京
審判	主審 清水 幹治	副審 福岡 俊徳		



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

本丸							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	藤井 祐希	×	10	2	2	0	3
5	富樫 勇樹	×	36	6	8	2	1
6	田中 光	×	12	0	5	2	1
7	川崎 龍太郎	×	0	0	0	0	0
8	反町 駿太	/	0	0	0	0	1
9	溝坂 太成	×	16	2	5	0	2
10	山宮 弘毅						
11	平川 啓太郎						
12	坂井 俊太郎						
13	水戸 大志						
14	木竜 泰生						
15	本間 翔太郎						
16	花野 文昭						
17	佐々木 和也						
18	羽田 和寛						
監	富樫 英樹						
C	田中 利明						
合計			74	10	20	4	8

京北							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	田渡 凌	×	39	3	14	2	4
5	池田 慶次郎	×	9	1	3	0	1
6	菅野 遥亮	/	0	0	0	0	0
7	佐々木 祥太						
8	馬場 凱士						
9	加山 聖						
10	河内 悠一郎						
11	高橋 涼						
12	西山 誠也						
13	岡田 大貴						
14	伊藤 達哉	×	2	0	1	0	1
15	三上 健人	×	16	0	8	0	1
16	木林 毅	×	2	0	1	0	1
17	石原 卓						
18	新川 敬大	/	0	0	0	0	0
監	田代 直人						
C	田渡 敏信						
合計			68	4	27	2	8

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー

大観衆の中、両チームともに緊張高まる大舞台。中学生最後の緊迫した中で決勝戦が開始された。

本丸はハーフマンツーマン、京北は2-1-2のゾーンでスタート。先行したのは京北#5のシュートをきっかけに、続きざまに#5の3P、本丸#9の3P、京北#4、#15が3P、ドライブなどを確実に決める。それと同様に本丸#5、#6、#9、#4が確実に加点する。10は17-19京北リードで終了。20、京北は2-1-2の堅い守りにインサイドにボールを入れさせない。10と同様に京北は#4、#5、#15が得点を重ねる。一方の本丸は、#5、#9が3P、#6のリバウンドシュートを決めるなど、ともにハイレベルな戦いが続く。40-41で京北がわずかに1点をリードして前半終了。

3Q、本丸#9が京北のエース#4を徹底してマークしボールミートすると本丸#8がヘルプにいく状況をつくり京北#4の得点が3分間止まる。その間本丸#6がリバウンドを頑張り、本丸優勢としたところで残り2分38秒、京北がたまたまタイムアウト。その後、再び京北#4のシュートと#15の速攻がブザービーターで決まり、56-57京北1点リードで3Q終了。

4Q開始直後、本丸#5が3Pを連続で決めるが、それに負けじと京北#14、#15の連続ドライブで再び京北1点リード。残り3分43秒本丸#5のフリースローの加点によってようやくその差が67-61本丸リードとなる。残り3分33秒京北がタイムアウト。オールコートDefにより逆転のチャンスを狙う。しかし本丸#4の3Pによって、本丸がリードを保つ。残り1分26秒本丸#6がリバウンドシュートを決めて74-65となったところで京北がタイムアウト。その後、京北#4の3Pが決まり74-68とするが、本丸の#5を中心としたボールコントロールでそのまま逃げ切り、ゲーム終了となった。両チームとも中学生とは思えない、ハイレベルの好ゲームであった。

これまでの激戦を勝ち抜いた本丸と京北の思いが、この決勝戦でフィナーレを飾り、大観衆の中での戦いにふさわしい感動を与えてくれた両校のチームに感謝したい。

記録者： 佐藤 善也